



議会だより

# わどまり



第155号



**Contents**

令和4年度 当初予算 .....	2P
令和4年度 重点新規事業 .....	4P
こんなことが決まりました .....	5P
9名の議員が町政を問う .....	6P
絆のバトン・人事案件・編集後記 .....	14P



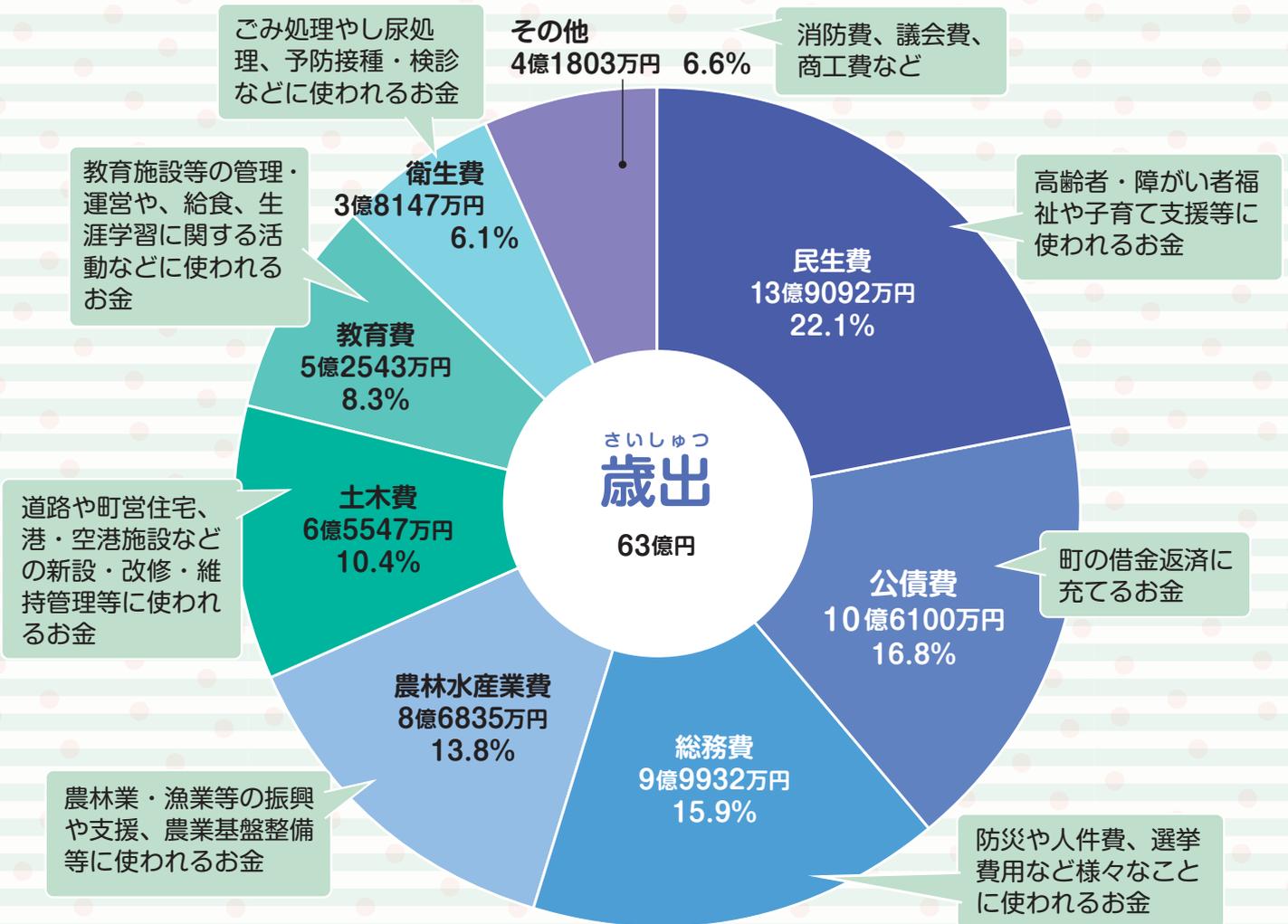
左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、町議会のホームページにリンクします。

# 当初予算編成

令和4年  
第1回定例会  
3月8日▶18日

## 一般会計(歳出・歳入)

63億円【前年度対比 4898万円(減)】



### 令和4年度特別会計等予算額 (水道事業会計の資本的事業は除く)

項目	今年度	前年度比
国民健康保険特別会計	10億8568万円	560万円(減)
介護保険特別会計	9億7094万円	1223万円(増)
後期高齢者医療特別会計	9909万円	744万円(増)
下水道事業特別会計	2億6491万円	787万円(増)
農業集落排水事業特別会計	3億2980万円	9944万円(増)
奨学資金特別会計	1146万円	117万円(増)
水道事業会計(収益的事業)	1億8058万円	42万円(減)

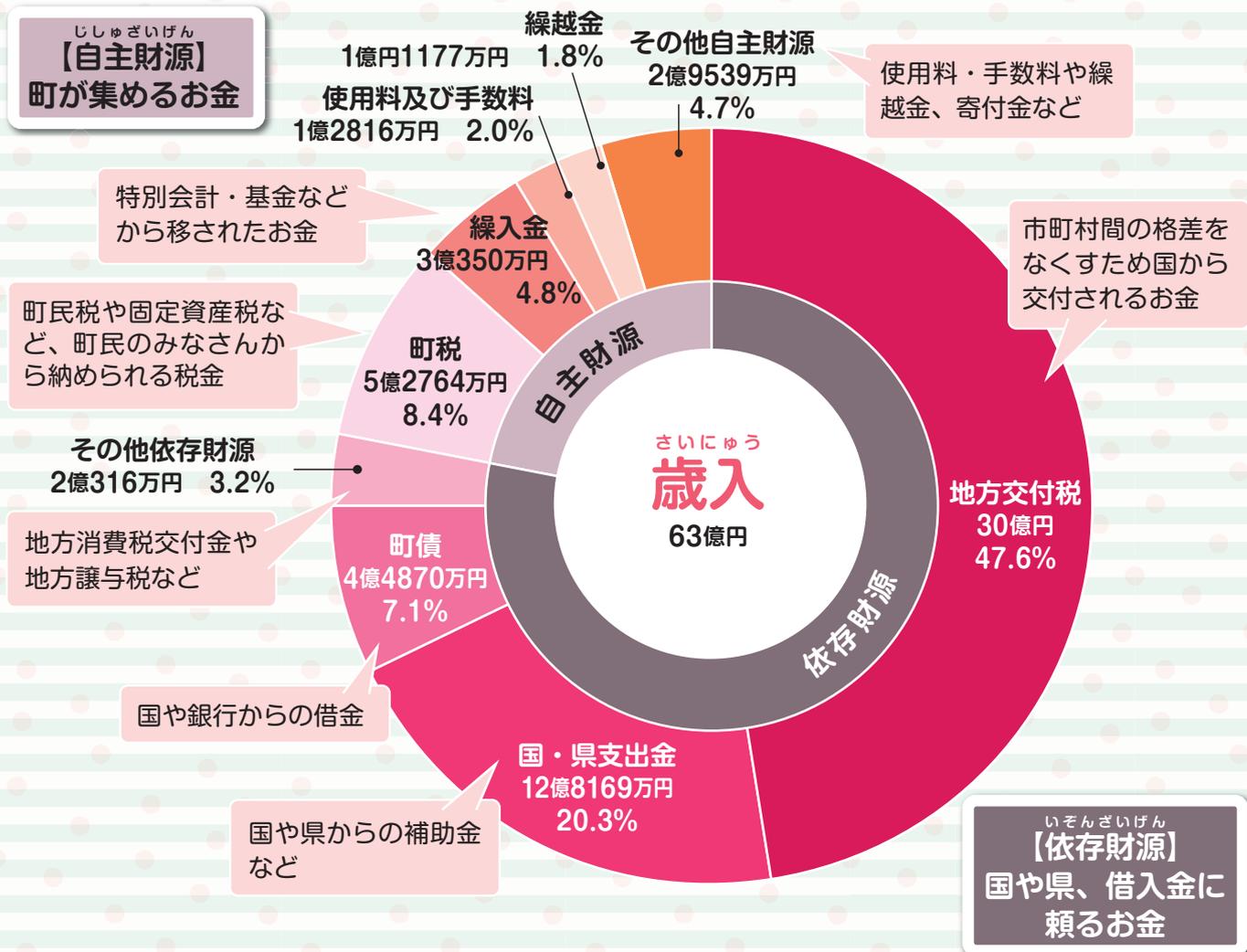


※グラフの数字は端数処理のため、必ずしも合計金額と一致しない。

# 令和4年度 当初予算

# 前町長初の

## 稼ぐ力の向上、脱炭素社会の実現



一般会計予算の推移

R 4年度	63億円
R 3年度	63億4898万円
R 2年度	61億9525万円
H31年度 (R1年度)	64億4055万円
H30年度	68億9730万円

# 令和4年度 重点新規事業一覧

(単位：千円)

番号	事業名	担当課	事業費 (自己負担等除く。)
1	重点新規ふるさと特産品支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税返礼品の増加と特産品振興を目的に実施。</li> <li>新製品開発やパッケージリニューアル、成分分析等に要する費用を対象とする。(町内事業者に限る。) ・50万円×3組程度(上限1/2)</li> </ul>	企画課	1,600
2	重点新規和泊町ブランディング事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>和泊町の島内・島外に向けたブランディングの促進。 (ふるさと納税や町の出来事の情報発信の強化・広報誌・Webサイトの充実化等)</li> </ul>	企画課	3,500
3	重点新規公共施設在り方検討事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>町が保有する公共施設の在り方等を検討する。(施設の財政状況などを含めた今後の運営方針等について、校区単位の説明会を開催し検討する。)</li> </ul>	企画課	915
4	重点新規地域循環共生圏離島モデル策定調査事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>両町で実施する地域循環共生圏離島モデル策定調査事業。</li> </ul>	企画課	1,500
5	重点新規土づくり推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>土壌診断に基づく土づくりを推進し、環境保全に寄与する。</li> <li>土壌診断後の資材購入の一助(1/3を上限：補助の上限は5千円/10a)</li> </ul>	経済課	3,000
6	重点新規生分解性マルチ推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>農家のコスト軽減に資するとともに、環境負荷の軽減が図られる。</li> <li>対象農家(ニンニク・里芋で約200戸)</li> <li>1本当たり3千円補助、各品目4本まで対象。</li> </ul>	経済課	2,400
7	重点新規えらぶの魚普及事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>漁業体験で自己負担金も徴収(対象：町内在住の小学生～高校生、自己負担金2千円/1人)</li> <li>漁獲から、捌いて食するまでを実施・体験する。</li> </ul>	経済課	210
8	重点新規むうるほうらしゃプロジェクト事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>「むうるほうらしゃプロジェクト事業」の一環として、電動アシスト自転車の購入助成を行う。(購入代金の1/2又は各自転車の上限額：電動二輪車3万円、電動三輪車7万円、Eバイク10万円)</li> </ul>	土木課	10,579
9	重点新規家庭保育応援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭で一人で保育を頑張っている母親に対し、ストレス解消のためエステ、美容室、マッサージ及びタラソ施設等の利用料の助成を行う。(1万円の利用券：1回/2か月)</li> </ul>	町民支援課	2,310
10	重点新規健康づくり増進施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>住民の健康増進を目的とし、施設等整備事業を実施する。 (町内の公園もしくは公共施設に、健康小道の設置等を検討中)</li> </ul>	保健福祉課	3,986
事業費合計			30,000

令和4年 第1回 定例会 (3月8日~18日)

Table with columns: 議案等番号, 件名, 議員名 (議席番号順), 議事結果. Rows include items like '専決処分の報告について' and '町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について'.

\*永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決(賛成・反対の意思表示)権はありません。

賛成反対がわかれた案件

議案第4号

町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について (賛成3 反対8)

<反対討論> 財政の健全化は、町民運動にまで広げる必要がある。そのためにも現状を継続する必要がある。 桂 弘一議員

<賛成討論> 行政業務の構造改革によって財政健全化を図るべき。給与削減は、災害発生時や町長の考える新たな目的達成へ向けて行ってほしい。 中田隆洋議員

# ココが聞きたい 一般質問 町政を問う!!

令和4年第1回  
議会定例会

●喜井 和夫議員 P 6  
町民が支える未来の農業

●池田 正一議員 P 7  
コロナ禍：災害から  
島民を守れ

●森 富隆議員 P 8  
高齢者の生き甲斐  
づくりの支援を

●山口 明日香議員 P 9  
よりよい子育て支援を

●中田 隆洋議員 P 10  
課題の共有、そして、  
創意工夫

●川畑 宏一議員 P 11  
激動の時代に対応した  
行財政運営を!!

●東 弘明議員 P 12  
小さな声から  
未来をつくる

●桂 弘一議員 P 13  
令和4年度の施政方針を問う!!

## 一般質問とは??

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え・方針を聞き、疑問点を質すこと。



## 町民が支える未来の農業



喜井 和夫 議員

### 種苗法について

**問** 改正種苗法が令和4年4月から施行されるが、本島の農産物への影響はあるのか。

**答** 種苗法の改正については、令和3年4月に一部改正法が施行されており、登録品種を譲渡する場合、

品種名など必要事項を表示することが義務となっている。

この改正法の背景には、ブドウなどブランド果実の種苗が海外に流出したことから、種苗など農産物の知的財産の保護が目的となっている。

さとうきびについては、農林8号は、すでに育成者権が消滅しているため、一般品種扱いとなり、許諾は不要。その他の品種については、ほとんどが国の研究機関である農研機構で開発された登録品種である。

これらの登録品種については、種苗管理の事項を遵守することを条件に、改正法施行後も、自家用栽培向け増殖の許諾手続きは不要となる。なお、登録品種については、増殖した種苗の有償無償にかかわらず、他人に譲渡できないこととされている。

輸送野菜については、和泊町で生産されているバレイシヨの登録品種は、ピルカとアローワとなっており、ピルカについては農研機構と長崎県が登録しており、種芋入手後1年間にかぎり、許諾手続き不要で自家増殖は可

能。アローワについては、一般企業が登録しており、自家増殖は不可となっている。

花きについては、登録品種の自家増殖に関して許諾が必要となるが、国や鹿児島県が育成者権者の登録品種は、種苗管理の事項を遵守することを条件に、許諾手続きが不要。

現在、本町において栽培されている品種については、許諾手続きの必要な品種は生産されていないので、影響は無いものと考えている。畜産については、種子は購入して栽培しているため問題ない。

コロナ禍・災害から島民を守れ!!



池田 正一 議員

新型コロナウイルスワクチン接種について

**問** 5歳から11歳の小児へのワクチン接種が3月にも開始予定であるが、保護者から副反応や後遺症等について不安の声が寄せられている。効果や安全性の情報提供等、不安解消のための対策は。

**答** 5歳から11歳の小児へのワクチン接種については、新しいワクチンでもあり不安に感じられる保護者も多数おられると思う。保護者が十分に理解した上で接種となるため「5歳か

ら11歳のお子様と保護者の方へ」というパンフレットを区長会を通して全戸配布予定。パンフレットにはワクチンの効果や副反応について記載されているので、各ご家庭でご覧になり、ご検討いただきたい。

接種の実施方法については、ワクチン接種による副反応等懸念される方が多いことや、接種の有無による差別等につながらないためにも、個別接種を視野に、関係機関と検討しながら安心して接種を受けられるようにしたいと考えている。

危機管理防災体制について

**問** 南太平洋トンガ諸島で起きた海底火山噴火の影響で1月16日の未明に津波警報が発令され各地で混乱が生じたが、本町の対応は。

**答** 16日午前0時15分に津波警報が発表されたことから、総務課の全職員及び消防団長に緊急招集をかけた。  
午前0時30分に災害警戒本部を設置、午前1時16分に防災行政無線等において津波警報の発表と海岸付近への警戒について周知した。

午前2時33分に防災行政無線等において被害無しの情報と引き続き海岸付近への警戒及び落ち着いた行動について、周知した。

午前7時30分には津波警報が注意報へ切り替わったため、午前8時2分に防災行政無線等において津波注意報への移行と、引き続き注意報解除までの警戒と落ち着いた行動について周知した。

午後2時10分に情報連絡体制を解散した。

**問** 今回の津波警報発令により、見えた課題は何

**答** 津波警報発表後に、島内の越山や大山などの高台において、車での避難が殺到したとの報告を受けている。

津波災害について、本町では、原則、徒歩での避難としているが、このような混乱が発生したことについて、今後の課題だと考えている。

今後、避難訓練の際には、原則徒歩での避難について周知、徹底していきたい。

また、今回の津波警報は、地震による津波ではなかったということ、現在気象庁においても議論を進めているので、今後の気象庁の見解などを踏まえ、対応策について検討していきたい。



高齢者の生きがいづくりの支援を



もりとみたか 森富隆 議員

高齢者のいきがいづくりの推進について

**問** 和泊町高齢者元気度アップ・ポイント事業の活動状況は。また、新たにポイント付与対象となった活動は。

**答** 高齢者元気度アップ・ポイント事業は、65歳以上の高齢者を対象としている事業。2月1日現在の高齢者人口の2024名に対して事業登録者数は428名。高齢者の約2割の方が事業の登録をされ、健康増進活動や社会参加活動等に参加されている。

新型「コロナウイルス」感染症拡大防止のため、規模を縮小している活動や、感染者が判明した際は自粛している活動もあるが、感染予防対策を徹底し、事業の実施ができるよう努める。

新たに追加した対象活動は、閉じこもり傾向にある高齢者の社会参加活動として、グラウンドゴルフ大会をポイント付与対象活動としている。

高齢者の健康増進活動や社会参加、介護予防活動、地域貢献学習等活動を実施、又は計画している場合は、対象活動の登録が可能か、地域包括支援センターへご相談を。

**問** コロナ禍は新たな変異株の感染拡大で、厳しい社会情勢が続いているが、長寿会活動の維持と活性化

の考えは。

**答** コロナ禍により、長寿会の活動中止や規模縮小を余儀なくされている状況であるが、活動は高齢者の生きがいづくりに大きく貢献している面もある。会の活動維持として、三密の回避や参加前の受付にて検温や消毒を行うなど、「新しい生活様式」に基づいた感染症対策を実施している。

また、活性化については、高齢者の活動ができないことに対する「コロナフレイル」の回避のために、サンサンテレビにて自宅で行える体操動画の撮影や、「コロナ終息後に長寿会の活動に参加できる健康づくりに取り組めるよう支援してきた。今後感染状況、社会情勢等に応じて長寿会の活動が行えるよう支援していきたい。

※コロナフレイルって？

高齢者の筋力や気力が低下し、介護が必要となる一歩手前の状態。

ポイント利用までの流れ

ポイントは5ポイント（500円）ごとに交換ができます。  
例えば… 5・10・15・20・25・30・35・40・45・50ポイントが貯まった場合随時交換が可能です。また、一括で50ポイント貯まってからの交換も可能です。



よりよい子育て支援を



山口明日香 議員

子育て支援について

問

令和4年度の各こども園等の職員の人員確保はどのように考えているか。また、職員の労働環境は。

答

職員の人員確保については、4月からの入園児数が、内城・国頭・大城こども園の3園とも定員を下回っており、現職員と新規採用1名で対応可能となっている。引き続き、求職希望者の中に保育士の資格を持つ者がいたら、声掛けするなどして確保に努める。労働環境については、ICTを活用して乳児の午睡チェックや

空調の整備、トイレの改修工事など、各園の必要性を考慮して、労働環境の改善を図っている。

新型コロナウイルス感染症対策について

問

園児や児童・生徒のマスク着用の状況は。

答

町内の保育園・こども園でのマスク着用の状況は、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針において、2歳未満児にはマスク着用が奨められていないため、着用者はほとんどいない。2歳から5歳児クラスについては、ほとんどの園児がマスクを着用しているが、常時着用ができるのではなく、屋外ではマスクを着用せずに活動している状況である。園児のマスク着用については保護者の意見も様々で

あり、基本的対処方針においても「マスクを着用する場合は、息苦しくないか、嘔吐していないかなどの子どもの体調変化に十分注意するほか、本人が調子の悪い場合や、持続的なマスク着用が難しい場合は、無理して着用させる必要はない」と明記されているため園児のマスク着用に関しては、慎重な対応を心掛ける必要があると考える。

幼稚園や小・中学校においては、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に従って感染症対策の徹底を行っている。園児や児童・生徒のマスク着用についても、同マニュアルに示されている「学校や園での必要な場面でのマスクの適切な着用」の記述に基づき対応している。学校や園での教育活動は、登下校や授業、給食等、

様々な場面が考えられるが、原則として身体的距離が十分にとれないときはマスクを着用することとしている。熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるときや体育の授業、部活動、児童・生徒等本人が息苦しいと感じたときなどには、マスクの着用は必要ない。また、発達上の障害やマスクの着用による支障をきたす可能性のある特定の健康状態をもつ児童・生徒に対しては、マスクの着用を強制することがないようするなど、教育活動の場面や活動内容、本人の状況等を踏まえたうえで適切に対応している。



子ども達の健全な成長に資する感染対策を

課題の共有、そして、創意工夫



なかだ たかひろ 中田 隆洋 議員

施政方針と当初予算について

問 町長の政策は、施政方針と当初予算編成においてどのように反映されているか。

答 特に新型コロナウイルス感染症対策、安心・安全のまちづくり、農林水産業の振興、商工・観光・地域経済の活性化、教育行政の振興に努める。その他、循環型エコのまちづくり、デジタル化の推進、ふるさと納税の推進、SDGsを踏まえ機能的かつ簡素で効率的な行政運営に向けた施策を推進していく。

また、重点新規事業枠を設け、第6次総合振興計画の推進や子育て環境の充実など、10項目3千万円の事業を実施し、町民の行政需要に対応する施策の推進に取り組む。

財政について

問 令和3年度から4年度にかけて、財政指標の改善はどのように見込まれているか。また、財政シミュレーションの見直しはなされたのか。

答 令和元年度決算から令和2年度決算に、財政指標は改善傾向にあり、令和2年度から3年度にかけても同様の傾向が見込まれる。また、令和3年度途中から、補正予算に対する根本的な考え方を見直し、当初予算で編成した年間所要額内で

対応することとしたため、今後、財政指標の改善に寄与すると考える。

財政シミュレーションについては、令和3年10月に各課(局)に対し、向こう10年間の普通建設事業費の調査を改めて行い、財政シミュレーションを実施した。

所有者不明土地対策について

問 相続土地国庫帰属法や民法等の改正に伴い、所有者不明土地対策について、どのように講じていくか。

答 令和5年4月から段階的に各種法案が施行されるので、法務局を含め関係機関と連携し周知等を図っていくほか、本町に所有者不明土地がどの程度存在するか、情報収集に努めながら関係機関と連携して対策を検討していく。

【P11の説明】

- ※① DX……………「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方面に変化させる」という概念
- ※② AI・OCR…手書き書類や帳票の文字を、AI技術を用いて高精度で読み取りデータ化するサービス
- ※③ RPA……………PC内のソフトウェアロボットがデスクワークを自動で処理するサービス



▲ 満開を迎えた笠石海浜公園のスカシユリ

激動の時代に対応した行財政運営を!!



かわばた こういち 川畑 宏一 議員

令和4年度当初予算編成における、取り組みは。

問 財政の早期健全化について

答 職員全体で財政状況に対する危機意識を共有し、予算要求から徹底した見直しを行い、義務的経費や投資的経費を除く一般政策経費を前年度比93%内となるよう努めた。その結果、令和4年度の一般会計当初予算は、令和3年度から4898万1千円減の63億円で計上した。財政指標は依然として厳しい水準だが、必要不可欠な施策は進めつつ持続可能な財政運営を図っていく。

問 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進について

答 国の自治体DX推進計画において①自治体の情報システムの標準化・共通化②マイナンバーカードの普及促進③自治体の行政手続のオンライン化④AI・RPAの利用促進⑤テレワークの推進⑥セキュリティ対策の徹底、などデジタル社会の構築に向けた取り組みが全自治体に求められている。令和4年度は、AI・OCR及びRPAの導入事業を予定しており、企画課を中心に全ての部署が連携した推進体制を構築し、自治体DXに積極的に取り組んでいく。

問 介護人材確保について

答 中学生以上が対象で、社会参加・就労的活動を推進するとともに介護現場

での更なる活躍を支援し、介護人材の裾野を拡大することを目的とする介護人材確保ポイント事業を令和3年度から実施している。地域全体で高齢者を支える仕組みづくりや、介護分野への関心及び地域包括ケアの推進に不可欠な住民参加の認識を高めていくよう令和4年度も引き続き実施する。また、沖永良部介護福祉士会の人材確保・定着を目的とした活動への支援を引き続き行う。

問 循環型社会構築について

答 「和泊町SDGs推進計画」を基に「第6次総合振興計画」を着実に推進する。廃棄物・リサイクル対策については、町民の快適な住環境保持のため、廃棄物等の発生抑制・資源の循環的な利用・適正な処分がなされるよう努めていく。令和3年度から実施している「家庭用生ごみ処理機等設置費助成事業」を継続して取り組むとともに、ごみの不適正排出・不

法投棄やポイ捨て防止について関係団体との連携強化を図り、町民がごみを出さない暮らしへと価値転換できるよう普及・啓発に努める。

問 南洲橋整備計画について

答 南洲橋は石橋に床版を載せた車道用橋梁の両側に歩行者用の側道橋がある3つの橋梁で構成されている。海側にある側道橋は損傷が激しく更新計画が策定され、撤去が完了している。今後、新たな側道橋架設工事を計画しているが、多額の予算を要することから、着工時期については他事業の増減推移を見ながら予算の平準化を図り執行するよう検討している。

危機管理について

問 トンガ諸島海底火山噴火に伴う津波警報発令への対応における課題は。

答 (P7池田議員への答弁参照)

小さな声から未来をつくる



ひがし ひろあき 議員  
東 弘明

自粛を要請している。

**障がい者福祉の取り組みについて**

**問** 障がい児に対する支援にはどのようなものがあるのか。また、今後の支援内容の拡充は。

**答** 障がいのある子どもに對する支援に「療育」と総称される福祉サービスがあり、和泊町では約90人の児童が利用している。

これは国の必須事業で、島内では6つの事業所において計画作成等を担う相談支援サービスと通所型の児童発達支援・放課後等デイサービス及び訪問型の保育所等訪問支援が実施されている。

いずれのサービスも、個々の特性について評価を行ったうえで、それに応じた関わりを通し、対象となる児童が

無理なく社会と共存できる手段や方法を模索し有効な訓練を実施していくものである。

なお、対象となる児童は、身体に障がいのある児童、発達障がい又はその可能性のある児童、知的障がいのある児童等とされており、診断や各種手帳については必須ではない。

今後の支援の拡充については、地域におけるニーズの把握を行ったうえで関係者の皆々と協議し検討していく。

**問** 障がい者の雇用実態はどのようなになっているのか。また、「障がい者就労支援施設さねん」における利用者の状況は。

**答** 障がい者の雇用実態については、令和3年度、「あまみ障がい者就業・生活支援センター」に新規相談者が2名、「障がい者就労支援施設

設さねん」に新規利用者が2名、一般企業就労に2名の方が繋がっている。

「障がい者就労支援施設さねん」における利用者状況は、給付決定者数22名のうち、実利用者月平均は、20名程度。

奄美市にある「あまみ障がい者就業・生活支援センター」や「障がい者就労支援施設さねん」など関係機関と連携を図りながら、地域での就労継続支援ができるよう取り組みを続ける。

**問** 今後予想される変異株に備え、どのような対策を講じていくのか。

**答** 今後、新たな変異株が発生しても、令和4年2月に改訂した「沖永良部島新型コロナウイルス警戒レベル」を目安に対応していく。

現在は、集団感染の発生や、感染経路不明者が複数確認されるなど、警戒レベルとしては最上位のレベル4に相当するため、サンサンテレビ等で広報しているように、町民の皆様へ不要不急の外出



▲ 笠石ゆり園

令和4年度の施政方針を問う!!



かつら ひろかず 桂 弘一 議員

令和4年度の施政方針について

**問** 「稼ぐ力」の向上に資する施策とあるが、具体的な体制は。

**答** 「稼ぐ力」を強化するために、ふるさと納税の市場をリサーチ、積極的なプロモーション、官民が連携し全国に誇れる魅力的な商品やサービスを開発していく必要がある。ふるさと納税専門職員を1名配置するなど、体制を強化していく予定。

**問** 新たに重点新規事業枠を設けるとあるが、その目的等事業内容は。

**答** ふるさと納税額の増加へ向けた返礼品開発への

の支援や宣伝、セールスの充実を図るためのデザインやブランディングの促進、また公共施設マネジメントの観点から、今後の有線テレビの在り方についての調査事業、6次総合振興計画の「むうるほうらしゃプロジェクト」の自転車活用によるまちづくりを推進するための事業を計画している。

このほか、子育て環境の充実へ向け、家庭保育者への支援や健康づくり増進事業、脱炭素化社会推進事業、また、農業、水産業の振興として、土づくり支援、コスト軽減へ向けた生分解性マルチ資材の助成事業や島内産魚介類の消費拡大や漁業者の担い手確保へ向けた「えらぶの魚普及事業」を計画している。

**問** 有機農業による農産物の高付加価値化とあるがどのような取り組みから始めるのか。

**答** 生産者の所得向上の可能性について調査する必要があると考える。まずは、研修会等の機会を設け、生産者が有機農業について関心と理解を深められる取り組みを進める。

**問** 「確かな学力の定着」、そのための教育プログラムは構築されているか。

**答** 夢や志をもち主体的に学ぶ児童生徒の育成を図ることが重要である。授業の充実、キャリア教育の充実、家庭学習の充実の3つの柱による学びの充実に取り組んでいる。

**問** 総合交流アリーナの建設へ向けた取り組みを進めていくとあるが、令和4年度の計画は。

**答** 町民の皆様からの御意見を参考に、規模や候補地について検討する。

また、令和4年度より新たに「総合交流施設建設基金」の設置を提案しているところ。

有利な補助事業の獲得や、

民間資金の活用など、様々な可能性を検討する。

世之主関連の文化財の保護活用について

**問** 城跡の調査・修復計画が遅れているのは何故か。

**答** 町指定史跡「世之主の城跡」は、令和3年度は、文化庁国庫補助事業を活用し、航空レーザー地形測量を実施し、現状の記録作成を行った。

令和4年度の県地域振興推進事業に申請しており、令和4年度当初予算にも計上したところ。

**問** 世之主の墓全体の修復計画を立てるべきと考えるが、県との協議は。

**答** 令和8年の国史跡指定を目指した調査を実施している。これまでの文化庁と県文化財課との協議で、世之主の墓損傷箇所については、国指定までは大規模な改変は実施しない旨、方向性が示されている。



生まれも育ちも東京の私は田舎への憧れがあり、えらぶのどこまでも続く青い海と空、赤土、亜熱帯植物。満点の星空と電照菊。静かな街並み、どこの誰かもわからない私に話しかけてくれるおじい、おばあ。島の魅力を教えてくれる周りの人々。すぐにこの島の虜になりました。

一人目の子どもを島で出産し、初めての育児に分からないことだらけ。まだ喋らぬ我が子との時間を長く感じた時もありました。今思い出せば、孤独を感じたり、憂鬱だった時間は、産後うつやホルモンのせいだったんだろうなと感じます。

二人目出産までは観光業や居酒屋に勤め、人との関わりの中で子どもの成長を見守り、助け合い、自然の中で子育てができる喜びを知りました。子育て中の出会いで、一人目育児に孤独を感じた人が多いことにも気づきました。

たまたま見つけた沖永良部島という知らない名前の島の求人広告を見つけてから13年。仕事のほか様々なことに人に助けられ向き合い、自然に癒され、子どもの成長と共に自身の成長をしてきた私にとっ

て、この島は第二の故郷です。

1ターンの転勤族の多い離島での子育て、増えている高齢出産。悩みの尽きない子どもとの携わりを離島でも関係なく支援できるような環境になってほしい。子育てする側もされる側にとっても心豊かになれる環境、支援が欲しい。こんなに魅力あふれる島で子育てをしたい人もする人も減っていく現状を変えたい。本土では当たり前のことが離島だから仕方ないではなく、離島だからこそいいところに変えたい。やれることはなんだろうと町民支援課へ相談に行き、昨年10月にNPO法人SMAPPYを設立しました。設立準備期間から旧ニコニコクリニックを貸していただき、ボランティアを募り院内のリノベーション作業を進め、安心安全な遊べる環境、室内遊具の整備を昨年11月から始めました。みんなで子育てを、大人も子どもも笑顔になれる居場所を理念に活動しています。現在はおきえらぶ百貨店監修のもと心にも体にも優しいカフェも同拠点内にオープンしました。運営を継続してため様々な挑戦はしつつ、自主運営ができるようなシステムを模索していきます。

pickup 人事案件

じんけんようご 人権擁護委員

町民から人権相談を受け、問題解決のお手伝い、法務局職員と協力して人権侵害から被害者の救出や、人権についての啓発活動を行う。



■ 本部 玲子 氏 再任



託児事業準備中

プロフィール

新納 佳恵 さん (写真の中心)

2021年10月NPO法人SMAPPY発足。子育て支援、環境をより良くするための活動を行っている。現在遊び場の活動資金、食育、地産地消を目的としたカフェを併設した室内遊具施設を運営中。

編集後記

本町の令和4年度予算が決定をいたしました。町長の重要施策として福祉サービスが拡充された予算となっております。

また、脱炭素・CO2ゼロ政策に向かって進んでまいります。コロナ禍の中、感染には十分お気をつけください。

文責 児玉 実隆

- 委員 山田 明日香
- 委員 中田 浩樹
- 副委員長 田玉 隆洋
- 委員長 児玉 実隆
- 編集責任者 野利 則
- 議長 永野 利則
- 発行責任者 野利 則

今号の表紙



今回の表紙は、4月6日に行われた「令和4年度大城小学校入学式」の様子。緊張した表情もみられる新1年生6名です。